

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月14日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
【英訳名】	Network Value Components Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 渡部 進
【本店の所在の場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1
【電話番号】	046(828)1800（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部 ディレクター 寺田 賢太郎
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1 ニッセイ横須賀センタービル
【電話番号】	046(828)1804
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部 ディレクター 寺田 賢太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第2四半期連結 累計期間	第25期 第2四半期連結 累計期間	第24期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (千円)	1,128,086	1,496,471	2,498,926
経常利益 (千円)	24,030	52,189	35,929
四半期純利益又は四半期(当期)純 損失( ) (千円)	4,525	33,546	102,895
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	7,267	4,135	78,461
純資産額 (千円)	293,258	203,394	207,530
総資産額 (千円)	1,361,808	1,255,841	1,313,599
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	4.80	35.55	109.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.5	16.2	15.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	122,223	216,572	88,344
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	72,749	51,366	119,112
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	102,994	55,595	111,641
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (千円)	196,992	216,752	107,317

回次	第24期 第2四半期連結 会計期間	第25期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	31.62	4.88

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第25期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第24期第2四半期連結累計期間及び第24期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額を算定しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みがみられた一方、企業収益、雇用は改善傾向が続いており、先行きが不透明ななかで推移しました。

ネットワーク市場におきましては、標的型攻撃、DDoS攻撃等の新たな脅威やスマートフォンやタブレット端末の普及やクラウドサービスの進展によるIPトラフィック等の増加等、ネットワーク上での様々な課題に対する取り組みが着実に進展しております。

このような状況の中、当社グループは、引き続き、ニュータニックス社の仮想インフラアプライアンス製品やニクサン社のハイエンド・リアルタイム・ネットワーク監視ソリューション等の新製品の立ち上げに積極的に取り組みました。また、パートナーとの協業関係は、着実に伸展しており、受注への寄与としてその成果が現れつつあります。

ネットワークソリューション事業は、電力会社向けの大型案件を始めとして全般的に好調に推移し、ネットワークサービス事業につきましても、ネットワークの保守・構築といった従来型のサービスはもとより、マネージドVPNサービス等の自社サービスも好調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

利益面につきましては、低採算案件の増加、円安による売上総利益率の低下や子会社のイノコスの不振による売上総利益の減少があったものの、当社単体での売上の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益及び経常利益は前年同期を大幅に上回りました。また、当期純利益についても、経常利益の増加に加え、貸倒引当金繰入額が減少し、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,496,471千円（前年同四半期比32.7%増）、営業利益は56,060千円（同56.1%増）、経常利益は52,189千円（同117.2%増）、四半期純利益は33,546千円（前年同四半期は4,525千円の損失）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ57,757千円減少し、1,255,841千円となりました。これは主に、商品及び製品が103,279千円、投資有価証券が58,539千円、のれんが55,622千円減少した一方で、現金及び預金が108,635千円、前渡金が20,223千円、受取手形及び売掛金が17,777千円増加したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ53,621千円減少し、1,052,447千円となりました。これは主に、前受金が111,915千円増加した一方で、買掛金が117,022千円、短期借入金金が50,000千円減少したことによるものです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ4,135千円減少し、203,394千円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の15.8%から0.4ポイント改善し16.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より109,435千円増加し、216,752千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ94,349千円収入が増加し、216,572千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が52,177千円、減価償却費が33,383千円、のれん償却額が55,622千円であり、また、たな卸資産が99,306千円減少、前受金が111,915千円増加したものの、仕入債務が117,022千円減少、前渡金が20,223千円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ21,382千円支出が減少し、51,366千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出41,132千円、保険積立金の取得による支出6,708千円、貸付けによる支出5,125千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ47,399千円支出が減少し、55,595千円の支出となりました。これは主に、短期借入金の返済による純支出50,000千円、長期借入金の返済による純支出5,258千円によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,200,000
計	3,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	952,100	952,100	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	952,100	952,100	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	952,100	-	369,981	-	386,231

## (6) 【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
有限会社シークス	神奈川県横須賀市馬堀海岸3-18-16	246,000	25.83
渡部 進	神奈川県横須賀市	242,400	25.45
新日鉄住金ソリューションズ株式会社	東京都中央区新川2-20-15	30,000	3.15
渡部 美津子	神奈川県横須賀市	25,200	2.64
橋本 文男	栃木県足利市	10,000	1.05
米津 勝昭	愛知県名古屋市中川区	9,300	0.97
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	9,200	0.96
米津 久矢	愛知県名古屋市中川区	7,900	0.82
渡部 耕平	神奈川県横須賀市	7,200	0.75
渡部 慎平	神奈川県横須賀市	7,200	0.75
計	-	594,400	62.43

(注) 上記のほか、自己株式が8,400株あります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 943,500	9,435	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 200	-	-
発行済株式総数	952,100	-	-
総株主の議決権	-	9,435	-

## 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ネット ワークバリュー コンポネンツ	神奈川県横須賀市 小川町14番地 - 1	8,400	-	8,400	0.88
計	-	8,400	-	8,400	0.88

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第2四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人五大による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	109,517	218,152
受取手形及び売掛金	350,953	368,730
商品及び製品	287,047	183,768
仕掛品	170	216
原材料及び貯蔵品	19	12
前渡金	69,917	90,141
繰延税金資産	10,000	-
その他	31,549	36,013
貸倒引当金	18	3
流動資産合計	859,156	897,030
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	22,876	21,419
工具、器具及び備品(純額)	109,464	122,199
その他(純額)	1,016	695
有形固定資産合計	133,357	144,314
<b>無形固定資産</b>		
のれん	111,245	55,622
その他	10,017	7,244
無形固定資産合計	121,263	62,867
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	137,955	79,415
長期貸付金	110,539	115,204
その他	61,728	67,409
貸倒引当金	110,400	110,400
投資その他の資産合計	199,822	151,629
<b>固定資産合計</b>	454,443	358,810
<b>資産合計</b>	1,313,599	1,255,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	192,735	75,712
短期借入金	204,000	154,000
1年内返済予定の長期借入金	91,992	98,452
前受金	325,731	437,646
未払金	78,698	96,009
未払法人税等	9,215	10,921
賞与引当金	-	1,397
その他	30,001	37,516
流動負債合計	932,374	911,657
固定負債		
長期借入金	122,776	111,058
資産除去債務	7,142	7,205
繰延税金負債	43,383	22,469
その他	393	56
固定負債合計	173,694	140,789
負債合計	1,106,069	1,052,447
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	369,981	369,981
資本剰余金	386,231	386,231
利益剰余金	615,636	582,089
自己株式	7,433	7,433
株主資本合計	133,143	166,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,387	36,705
その他の包括利益累計額合計	74,387	36,705
純資産合計	207,530	203,394
負債純資産合計	1,313,599	1,255,841

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 6月30日)
売上高	1,128,086	1,496,471
売上原価	592,752	937,747
売上総利益	535,334	558,723
販売費及び一般管理費	499,431	502,662
営業利益	35,902	56,060
営業外収益		
受取利息	417	171
受取配当金	3	3
固定資産賃貸料	4,070	-
為替差益	-	2,635
その他	209	445
営業外収益合計	4,701	3,256
営業外費用		
支払利息	4,408	3,797
為替差損	6,844	-
支払手数料	5,011	3,073
その他	307	256
営業外費用合計	16,573	7,127
経常利益	24,030	52,189
特別利益		
固定資産売却益	3,896	-
特別利益合計	3,896	-
特別損失		
投資有価証券評価損	308	-
固定資産除却損	-	12
貸倒引当金繰入額	15,000	-
特別損失合計	15,308	12
税金等調整前四半期純利益	12,617	52,177
法人税、住民税及び事業税	3,351	8,686
法人税等調整額	13,791	9,944
法人税等合計	17,143	18,630
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	4,525	33,546
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	4,525	33,546

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	4,525	33,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,792	37,682
その他の包括利益合計	11,792	37,682
四半期包括利益	7,267	4,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,267	4,135
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,617	52,177
減価償却費	29,292	33,383
のれん償却額	55,622	55,622
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,964	14
賞与引当金の増減額(は減少)	11,713	1,397
受取利息及び受取配当金	421	175
支払利息	4,408	3,797
支払保証料	288	250
為替差損益(は益)	2,106	636
有形固定資産売却損益(は益)	3,896	-
投資有価証券評価損益(は益)	308	-
売上債権の増減額(は増加)	190,194	17,777
たな卸資産の増減額(は増加)	95,371	99,306
前渡金の増減額(は増加)	60,496	20,223
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,289	4,252
その他の固定資産の増減額(は増加)	98	13
仕入債務の増減額(は減少)	65,975	117,022
未払金の増減額(は減少)	5,288	20,798
未払消費税等の増減額(は減少)	20,576	18,590
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(は減少)	903	677
前受金の増減額(は減少)	67,178	111,915
未払費用の増減額(は減少)	1,434	576
預り金の増減額(は減少)	5,660	12,935
その他の流動負債の増減額(は減少)	2,220	1,301
その他	61	75
<b>小計</b>	<b>125,785</b>	<b>226,763</b>
利息及び配当金の受取額	796	159
利息及び保証料の支払額	3,770	4,047
法人税等の支払額	1,374	6,302
法人税等の還付額	785	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>122,223</b>	<b>216,572</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	11,000	-
有形固定資産の取得による支出	36,924	41,132
有形固定資産の売却による収入	336	-
無形固定資産の取得による支出	3,883	-
保険積立金の積立による支出	6,708	6,708
貸付けによる支出	39,859	5,125
その他	3,290	1,600
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>72,749</b>	<b>51,366</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	89,000	50,000
長期借入れによる収入	30,000	50,000
長期借入金の返済による支出	44,298	55,258
リース債務の返済による支出	337	337
その他	640	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>102,994</b>	<b>55,595</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,106	175
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>51,413</b>	<b>109,435</b>
現金及び現金同等物の期首残高	247,406	107,317
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>196,992</b>	<b>216,752</b>

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約について

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
当座貸越限度額の総額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	100,000	60,000
差引額	-	40,000

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
給料手当	215,048千円	226,240千円
賞与引当金繰入額	11,713	1,397

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	196,992千円	218,152千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	1,400
現金及び現金同等物	196,992	216,752

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

当社グループは、ネットワーク関連商品の輸入、開発、販売、サポートとサービス及びネットワークインテグレーションを主要な事業内容としており、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(金融商品関係)

記載すべき事項はありません。

(有価証券関係)

記載すべき事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

記載すべき事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	4円80銭	35円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	4,525	33,546
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	4,525	33,546
普通株式の期中平均株式数(株)	943,700	943,700

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成26年1月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月13日

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ  
取締役会 御中

### 監 査 法 人 五 大

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高木 勇三 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 徳山 秀明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ネットワークバリューコンポネンツの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ネットワークバリューコンポネンツ及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。